

直木孝次郎 （おきま たかじろう） 國史學者、文學博士。大正八年一月、二十日兵庫縣生孔（一九一九）。昭和十八年京都帝國大學文學部史學科卒。大阪市立大學、相愛大學客教授歴任。

著書『傳統天皇』（昭和二十五年、二月五日吉川弘文館「人物叢書」）、『伊勢神宮』（藤谷俊雄共著、昭和二十五年七月六日、二一書房「二一新書」）、『平城京』（合著・龜井勝一郎編、昭和二十八年十月、二十日筑摩書房「グリーンベルト・シリーズ」）、『神話と歴史』（昭和四十六年四月、二十日吉川弘文館）、『奈良―古代への旅』（昭和四十六年四月、二十日岩波書店「岩波新書」）、『古代史の人びと』（昭和五十一年六月、二十日吉川弘文館）、『奈良』（編、昭和六十年五月一日吉川弘文館「古代を考える」）、『古代遺跡見学―奈良・大阪・京都・滋賀』（昭和六十二年四月、二十一日岩波書店「岩波ジュニア新書」）等。

